



交通の社会実験とあわせて、道路空間を利活用します。

市道東那須野大通り線で、駅前全体の使い方を試す実験も実施



交通と空間利活用の両面を試す実験

今年の社会実験では、市道東那須野大通り線の一部を交通規制し、駅前広場と道路空間を一体的に使うことで、駅前全体の使い方を確認します。

- ・駅前広場の混雑や分かりにくさを軽減できるのか。
 - ・歩行者が安全に移動できるのか。
 - ・送迎や公共交通、駐車場利用にどのような影響があるのか。
 - ・交通規制に、どのような案内や誘導が必要なのか。
 - ・道路空間を休憩や待合、飲食、交流の場所として使えるのか。
- こうした点を、市民や駅利用者の皆さんと一緒に確認します。

駅利用時に経路が変わります

- ・社会実験期間中は、交通規制により、駅へのアクセス方法、送迎ルート、駐車場への入り方、周辺道路の通行方法など、通常と異なる場合があります。
- ・市では、交通誘導員の配置、案内看板の設置、ホームページや現地での情報発信などにより、できる限り分かりやすく、安全に利用できるように対応します。
- ・実際に利用する皆さんがどのように感じるかを把握するため、期間中にアンケートを実施し、こうした声を今後の魅力ある駅前空間づくりに生かしていきます。

交通規制のお知らせ

期間 10月23日(金)正午～11月1日(日)正午(夜間を含む終日規制)
場所 那須塩原駅西口駅前広場、市道東那須野大通り線の一部
内容 大通り4車線のうち3車線を歩行者空間化

※現地の案内看板、交通誘導員の指示に従って走行してください。



新幹線側道の封鎖

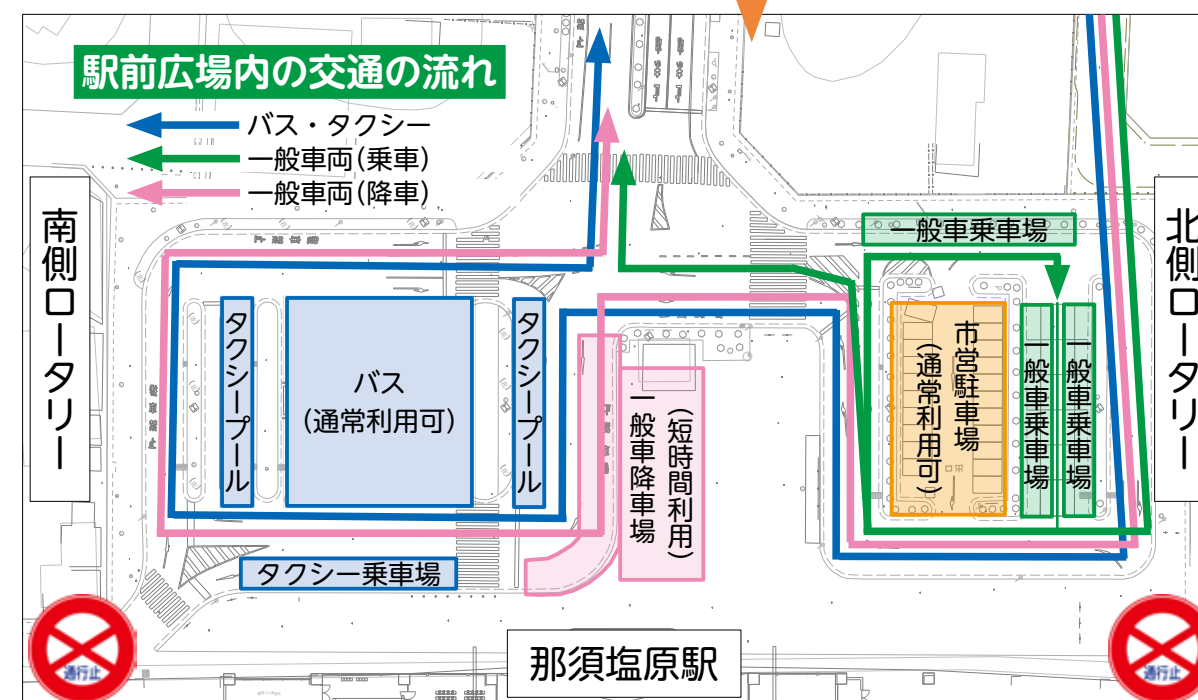
駅を利用しない車両(通過交通)が進入しないよう両側の新幹線側道を封鎖します。これによって、駅前広場内の混雑解消・安全性が向上します。

南北ロータリーの機能分担

南側をバス・タクシー用(公共ロータリー)、北側ロータリーを一般車用に機能を分け、南側ロータリーの混雑の緩和を図ります。

出入口の一方通行化

駅前広場の出入口を分離し、一方通行にすることで、車の交錯が減り、安全性が向上します。



※交通規制に合わせて、周辺の交差点などで交通量調査を行います。また、路上にカメラを設置する場合があります。

10月23日から10日間の「駅前社会実験」

駅利用時は、交通規制に注意

社会実験期間中は、市道東那須野大通り線の一部で交通規制を行います。ご不便をおかけしますが、駅への送迎ルート、周辺道路の通行方法、駐車場のアクセスなどが通常と異なり、駅前広場が混雑する恐れがあります。必要に応じて、那須塩原駅東口駅前広場もご利用ください。